

50代を前向きに楽しむ“ポジティブ”の存在が明らかに！？

～自分の時間を上手に活用し、生活充実度が高く、気持ち年齢は8歳も若い～

P&G『オトナスクエア™』は“ポジティブ”を応援

“ポジティブ宣言”で総額1,000万円をプレゼント！

50代からを輝かせる学校
TAKE FREE 創刊号

オトナスクエア™

人生が思い通りになる50代から始めたい
7つの習慣
発表！“ポジティブ”が今、始めたいこと
BEST8
写真家が案内！ドライブで行きたい
憧れの絶景
美しい日本のふるさと「白川郷」
日本の信仰と芸術の風景「富士山」

歯科医が伝授！
輝く口元で、たくさん笑おう！
オーラルケア
50代、肌や髪以上にケアしたい
オーラルケアのポイント
髪の悩みが
輝きに変わる！
**トリートメント
使い分け術**

総額1,000万円
“ポジティブ”
宣言して
当たる！

あなたは50代をどう感じてる？
さあ、ポジティブな50代
“ポジティブ”になろう！

50代女性のための学べるオンラインサービス『オトナスクエア™』を運営するP&G(本社：神戸市)は、50代女性に向けて「ポジティブな50代“ポジティブ”になろう！」というメッセージを発信し、50代女性を応援します。『オトナスクエア™』は、P&Gが運営する日本初の50代女性のためのオンライン上の学校で、50代を前向きに楽しむ女性を“ポジティブ”として応援し、前へ踏み出すきっかけを、「学び」「コミュニティ」「トクする」情報としてお届けします。さらに、“ポジティブ”を応援するために、総額1,000万円のプレゼントキャンペーンを展開します。50代を楽しむために、これから始めたいこと、やってみたいこと、こんなふうに過ごしたい、ということなどを『オトナスクエア™』で「ポジティブ宣言」として投稿していただくものです。これから50代を迎える女性も含めた45歳～59歳が対象。応募期間は2016年10月31(月)から2017年4月30日(日)までの6か月間です。今すぐ始めたいことを投稿するもよし、これからの6か月間『オトナスクエア™』を通じて、自分の好きなことを見つけて投稿するものも有意義です。「ポジティブ宣言」を投稿いただいた方の中から抽選で100名様に、ポジティブに輝くための支援金10万円をプレゼントします。P&G『オトナスクエア™』は、ポジティブ応援キャンペーンを通じて、50代女性が輝くきっかけをサポートしてまいります。

オトナスクエアURL：<https://www.myrepi.com/tag/otona-positive-fifty>

「ポジティブ宣言」キャンペーン参加方法

①キーワードで検索
ポジティブ宣言 検索

②キャンペーンページへアクセス

③“ポジティブ”宣言を投稿!
例)・やりたいことをやって50代を楽しむ
・ワインをもっと勉強したい!

★ **ポジティブ調査結果** 本キャンペーンに先駆け、20代～60代の女性1,500人を対象に考え方やライフスタイルに関する調査を行った結果、物事を前向きに捉え、自分の時間を上手に活用するポジティブなイマドキ50代女性＝“ポジティブ”の存在が明らかとなりました。

- 女性は50代になると、物事を前向きに考える人が増えるようになります(20代40.7%、30代42.3%、40代46.7%→50代54.7%)
- 物事を前向きに考える50代は、自分に自信があり(56.7%)、年齢にも前向き(64.0%)、毎日を楽しむ(67.1%)“ポジティブ”です。
- ポジティブの気持ち年齢は46.6歳で実年齢(54.4歳)より8歳も若く、美容への関心も高めです。
- ポジティブは学びに対しても貪欲。「いくつになっても学ぶことが大切」(91.5%)、「日々の生活の中でも学ぶことが多い」(80.5%)、「新しいことと今までと違ったことをやってみることが大切」(73.8%)と考え、67.1%が趣味や習い事を「楽しんで」います。



世代・トレンド評論家 牛窪恵さんのコメント

50代は、女性が再び「私スイッチ」を入れる時期。子育てや仕事に必死だった毎日が一段落。自分時間を取り戻し、新たな学びや人生を発展的に考える年代です。さらに現50代の多くは、バブル世代。若い頃にバブル景気の恩恵を受け、海外旅行やグルメ、高級ブランドなど「本物」にふれてきました。向上心にも溢れ、何事も「なんとかなる！」とポジティブに捉える、まさに「ポジティブ」時代をリードしてきた50代女性が、明るく前向きに突き進んでこそ、女性活躍社会も日本経済も、いきいきと輝くでしょう。

物事を前向きに捉える50代女性 = ポジティブに注目

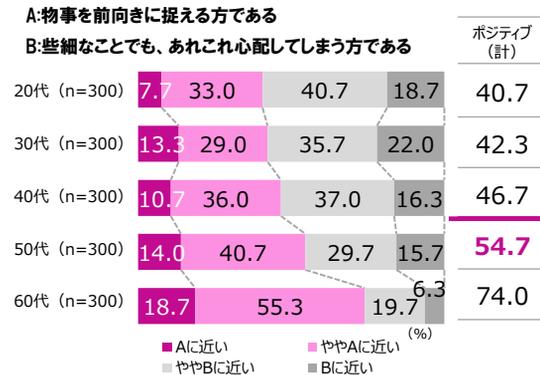
50代になると、「物事を前向きに捉える人」が**5割を超え半数以上に!**

20代~40代とは打って変わって、何事も**ポジティブ**に捉える前向きライフがスタートするのが50代です。

まず、20代~60代の女性1,500人に、「物事を前向きに捉える方か? 些細なことでもあれこれ心配してしまう方か?」のいずれかを聞いたところ、20代~40代までは物事を前向きに捉えるポジティブ派は半数以下にとどまっています(20代40.7%、30代42.3%、40代46.7%)が、50代になると54.7%と逆転し、60代では74.0%と4人に3人が物事を前向きに捉えています[図1]。

女性にとっての50代は、育児や家事時間が減り、時間的にも精神的にもゆとりが生まれ、物事を前向きに捉えることのできる**ポジティブ**なお年頃ということが言えそうです。

[図1] 物事を前向きに捉える方か?



物事を前向きに捉える**ポジティブ**な50代女性は、自分に**自信**があり、自分の年齢にも**前向き**。

毎日の生活もしっかり楽しむ**ポジティブ**な**フィフティー** = **ポジティブ**の姿が明らかに!

では、物事を前向きに捉える方と答えた**ポジティブ**な50代164人と、そうでない人(些細なことでもあれこれ心配してしまうと答えた人)136人について、どのような違いがあるのか比較してみました。

まず、今の自分に**自信**があるかどうか聞くと、**ポジティブ**な50代女性は56.7%(**自信**がある11.0% + やや**自信**がある45.7%)が「自分に**自信**がある」と答えているのに対し、そうでない人は18.4%(**自信**がある1.5% + やや**自信**がある16.9%)と低く、40ポイント近くの差があります[図2-1]。

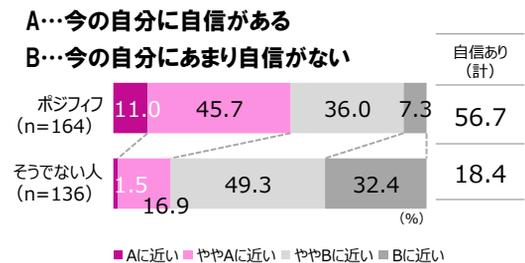
また、自分の年齢に対して、「まだ〇歳」(まだまだ)と思っているか「もう〇歳」(あきらめ)と思っているかを聞くと、**ポジティブ**な50代女性は64.0%(まだ〇歳18.9% + ややまだ〇歳45.1%)が「まだ〇歳」と、まだまだいけると捉えているのに対し、そうでない人は22.8%(もう〇歳20.6% + ややもう〇歳56.6%)が「もう〇歳」とあきらめモードです[図2-2]。

さらに、毎日の生活を楽しんだり、豊かにする工夫をしているかと聞くと、**ポジティブ**な50代女性は67.1%が「あてはまる」(あてはまる18.9% + ややあてはまる48.2%)と答えているのに対し、そうでない人は37.5%(あてはまる2.9% + ややあてはまる34.6%)と、**ポジティブ**派の半数近くまで少なくなっています[図2-3]。

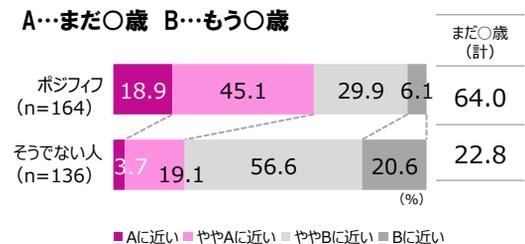
このように、物事を前向きに捉える**ポジティブ**な50代は、自分に**自信**があり、自分の年齢にも**前向き**で、毎日の生活を楽しんだり豊かにする工夫をしています。

P&Gでは、このように物事を前向きに捉える50代女性の存在に着目し、**ポジティブ**な**フィフティー** = “**ポジティブ**”と命名しました。

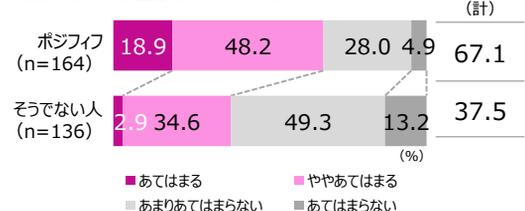
[図2-1] 今の自分に**自信**がある?



[図2-2] 自分の年齢を「まだ〇歳」と思っている? 「もう〇歳」と思っている?



[図2-3] 毎日の生活を楽しんだり、豊かにする工夫をしているか?



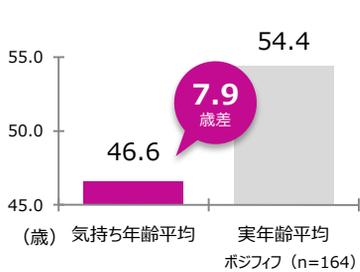
ポジティブの気持ち年齢と生活充実度

ポジティブは「実年齢」より「気持ち年齢」が平均8歳も若く、自由に使える時間をしっかり有効活用し、生活充実度も高めです。

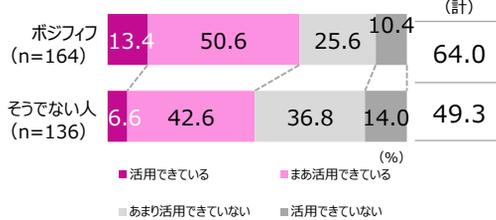
物事を前向きに捉えるポジティブな50代女性 = ポジティブの傾向を見ていきましょう。まず、自分の気持ちの年齢はいくつか聞くと、ポジティブの気持ち年齢は平均で46.6歳となり、実年齢の平均54.4歳よりも7.9歳も若いという結果になりました [図3]。

また、ポジティブの64.0%は自由に使える時間を「有効活用できている」（活用13.4%+まあ活用50.6%）と答え [図4-1]、今の生活の充実度も79.3%が「充実している」（とても充実13.4%+まあ充実65.9%）と答えています [図4-2]。一方、そうでない人は、いずれも半数以下（時間の有効活用49.3%、生活充実度49.3%）にとどまっています。

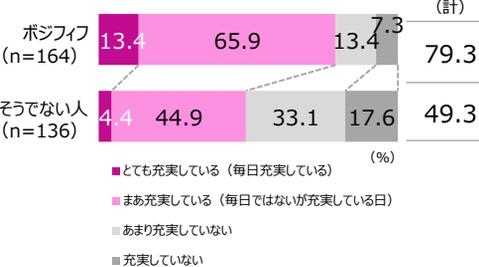
[図3] ポジティブの気持ち年齢と実年齢



[図4-1] 自由に使える時間の活用



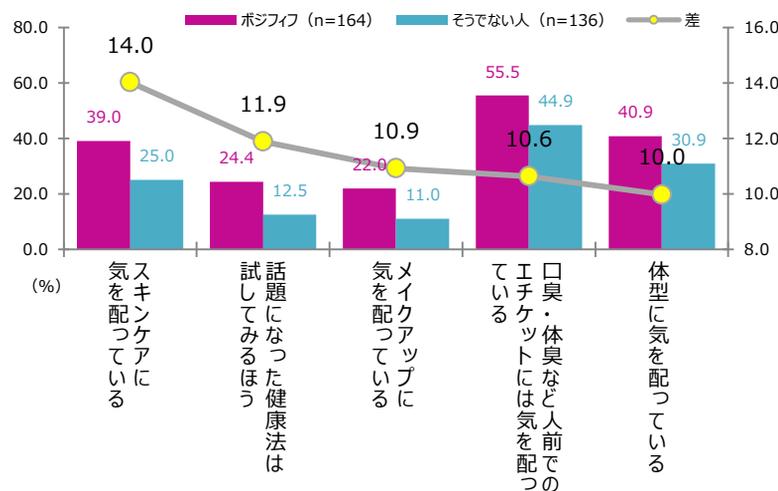
[図4-2] 生活充実度



ポジティブは、美容意識も高い！スキンケアに関しては、そうでない女性よりぐっと高め。

美容意識についてポジティブと、そうではない50代を比較してみました。その結果、「スキンケアに気を配っている」（ポジティブ39.0% > そうでない人25.0%）、「話題になった健康法は試してみる」（ポジティブ24.4% > そうでない人12.5%）「メイクアップに気を配っている」（ポジティブ22.0% > そうでない人11.0%）、「口臭・体臭など人前でのエチケットには気を配っている」（ポジティブ55.5% > そうでない人44.9%）、「体型に気を配っている」（ポジティブ40.9% > そうでない人30.9%）など、ポジティブの方が10ポイント以上も高くなっています。特にスキンケアに関しては、14ポイントもの差があります [図5]。

[図5] 美容意識



ポジティブの学び意欲

ポジティブは、いくつになっても「学び」を大切にする知的好奇心が旺盛な女性たち。

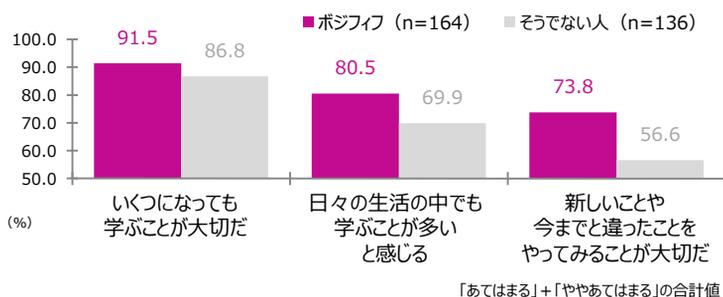
新たなチャレンジを大切に、約7割が趣味や習い事を楽しんでいることも明らかに！

何事にも前向きで気持ちが若く、生活充実度も高いポジティブ。

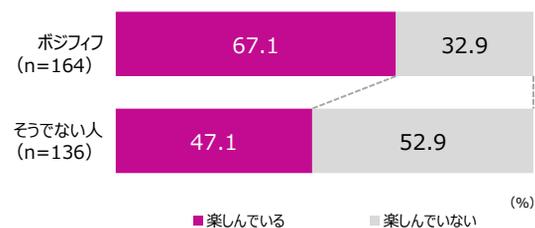
彼女たちの学びに対する姿勢を見ると、9割が「いくつになっても学ぶことが大切」（91.5%）と考え、8割が「日々の生活の中でも学ぶことが多い」（80.5%）と感じており、生活の中での「学び」も大切にしています。また、7割が「新しいことや今までと違ったことをやってみることが大切」（73.8%）と答え、好奇心も旺盛です〔図6〕。

また、趣味や習い事を楽しんでいるかどうか聞くと、ポジティブは67.1%が「楽しんでいる」と答え、そうでない人（47.1%）よりも20ポイントも高くなっています〔図7〕。趣味や習い事を楽しむポジティブの平均習い事数は2.3個で、趣味や習い事にかかる時間は1週間で8.3時間となりました。

〔図6〕「学び」に対する意欲・姿勢



〔図7〕趣味や習い事を楽しんでいる50代



調査概要

- 調査対象：全国の20代～60代女性 10歳刻みで各300人ずつ、合計1,500人
- 調査手法：インターネット調査
- 調査日程：2016年10月7日（金）～10月10日（月）